

練馬区議会議長賞

『税を知り、考える』

私の税についての認識は、最初「消費税とかがあるよな。」「教育とか、社会福祉とか、私たちの生活の為に使われているよな。」といった程度のもので、知らないことの方が多くありました。しかし、税についてはいつか、必要な時が来たら学べば良いと考え、知ろうともしていませんでした。

そんな時、学校で税理士さんによる税の授業を受けました。私はそこで、今まで知ろうとしてこなかった税の重要性を知り「税は身近なようでどこか遠いもの」ではなく「身近にあって、自分事として考えなければならぬもの」と思えるようになりました。

私は、授業で初めて、日本では4つの集め方を組み合わせて税を集めていることを知りました。私は、少し考えれば複数の集め方をしていると気づきそうなものなのに、それを今まで認識していませんでした。それが、税を自分事として考えず、他人事だと考えていた証明のように思えました。

練馬区立大泉第二中学校

二三年 大宮 彩佳

学校で給食のお皿を割ってしまったとき、栄養士さんから、給食のお皿は税金でできているものだと聞きました。とたん、お皿の重みが増したような気がしました。

税は、私たちの社会をつくり、暮らしを豊かにする為に使われています。しかも、それは現在だけでなく、未来の日本の為であります。未来の日本をつくるのは、未来の私たちです。現状、日本には様々な課題があります。課題をなくす為に使われるのは税金です。税の使い方を見れば、今の日本を客観的に見る事ができると思います。

私たちは、十八歳になったら選挙に参加することができるようになります。今まで、選挙への関心はあまりありませんでしたが、税を知り、未来のことを考えるようになって、興味を持つようになりました。私は、税金の使い方が、本当に未来の自分たちの為になるのか、持続可能な社会を目指す為に必要だと思える出資なのか、というようにお金という自分の生活に身近なもので考えて、自分がこ

の人ならきっと日本をより良い国にしてくれるに違いない。」と思える人に投票したいと考えています。

税について学習し、私は生活・政治・未来など、社会について深く自分事として考えられるようになりました。

税を知り、考えること。それは、現在を知り、未来へと目を向けることだと私は思います。より良い未来の為、もっと税について学んでいきたいです。